

アンケートへご協力いただいた地域の皆様へ

この度、令和6年10月に実施しました「府中市立心身障害者福祉センター認知度等に関するアンケート」の集計がまとまりましたので報告いたします。この結果を踏まえ、より良い施設運営に努めてまいります所存です。アンケートにご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

なお、自由記述では多くのご意見をいただきましたが、ページ数が多いため、同様のご意見はまとめさせていただきました。その他の意見もご覧になりたい場合には、お手数ですが福祉センターまでお問合せくださいますようお願いいたします。

府中市立心身障害者福祉センター

施設長 吉井康之

アンケート結果は、次のページからご覧ください。

府中市立心身障害者福祉センター
認知度等に関するアンケート調査
結果報告書

社会福祉法人
府中市社会福祉協議会

調査の概要

1 調査目的

府中市立心身障害者福祉センターは「心身障害者の文化教養の向上と社会参加と自立」を目指して設立され、心身障害（児）者の支援に関する事業を提供している施設ですが、障害者福祉の向上に加え、より豊かな地域社会づくりの一環として、当施設の活用について検討するため。

2 調査対象者

心身障害者福祉センター近隣住民（9,830世帯）

南町 1, 2, 3, 4, 5, 6丁目（3,150世帯）

分梅町 2, 3, 4, 5丁目（2,000世帯）

住吉町 1, 2, 4丁目（2,980世帯）

矢崎町 3, 4, 5丁目（200世帯）

四谷 1, 2丁目（1,500世帯）

3 調査方法及び調査期間

令和6年10月1日に業者委託により戸別配布

令和6年11月30日を返信期日として郵送と二次元コードにより回収

4 回収結果

有効回答数 1,351人 回収率 13.7%

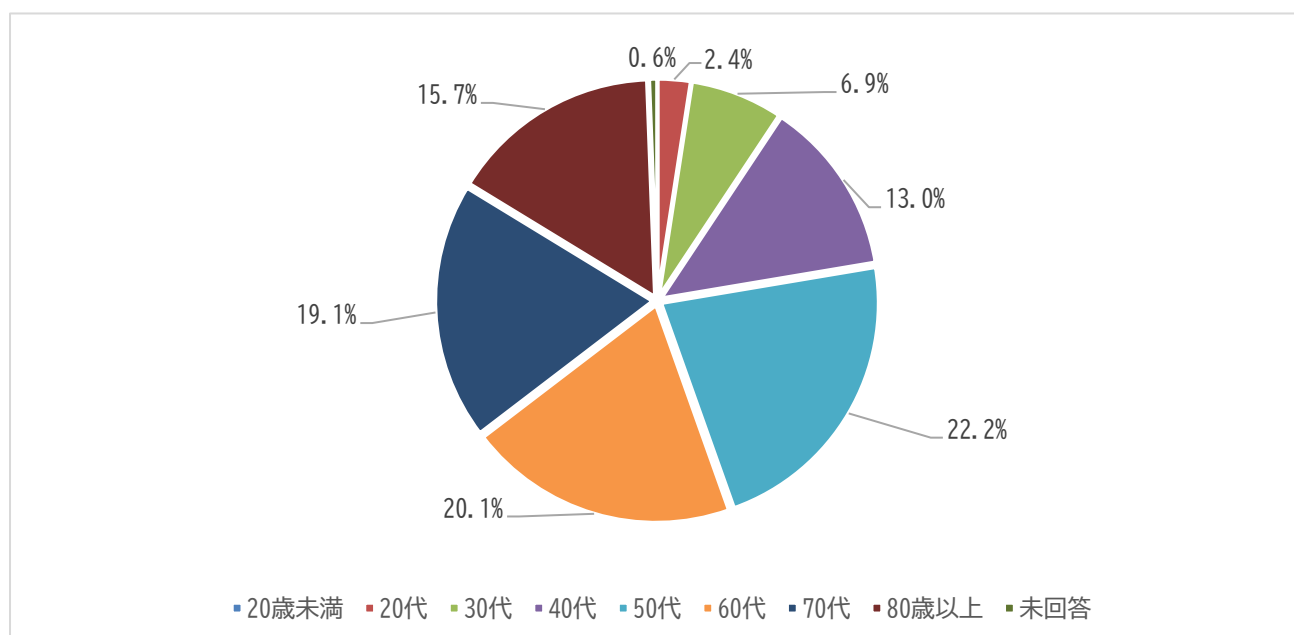
～あなた自身のことについてお伺いします～

問1 あなたの年代は (あてはまるもの1つに○)

回答者の年代については、「50代」が300人(22.2%)で最も多く、次いで「60代」271人(20.1%)、「70代」258人(19.1%)であった。これに「80歳以上」212人(15.7%)を加えると、77.1%が50代以上の回答者であった。

表1 回答者の年代

区分	人	%
20歳未満	0	0
20代	33	2.4
30代	93	6.9
40代	176	13.0
50代	300	22.2
60代	271	20.1
70代	258	19.1
80歳以上	212	15.7
未回答	8	0.6

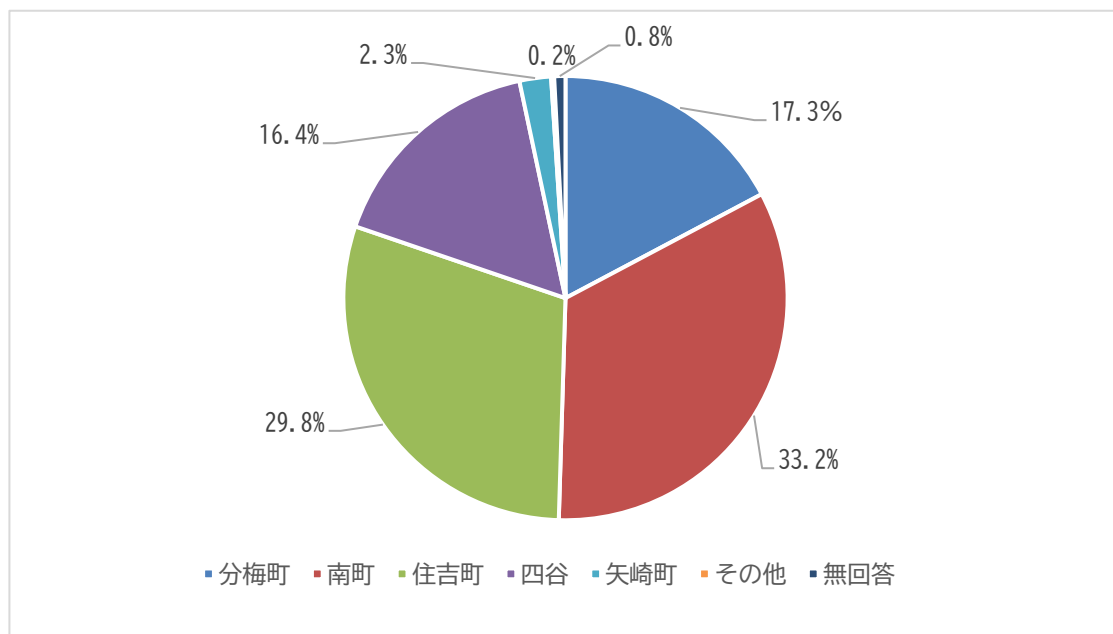


問2 あなたの居住地区は（あてはまるものに○）

回答者の居住地は、「南町」が449人（33.2%）と最も多く、次いで「住吉町」が402人（29.8%）、「分梅町」が233人（17.2%）であった。「四谷」が222人（16.4%）で、あった。

表2 回答者の居住区

区分	人	%	居住区別回答率 (%)
分梅町	233	17.3	11.6
南町	449	33.2	14.3
住吉町	402	29.8	13.5
四谷	222	16.4	14.8
矢崎町	31	2.3	15.5
その他	3	0.2	
無回答	11	0.8	



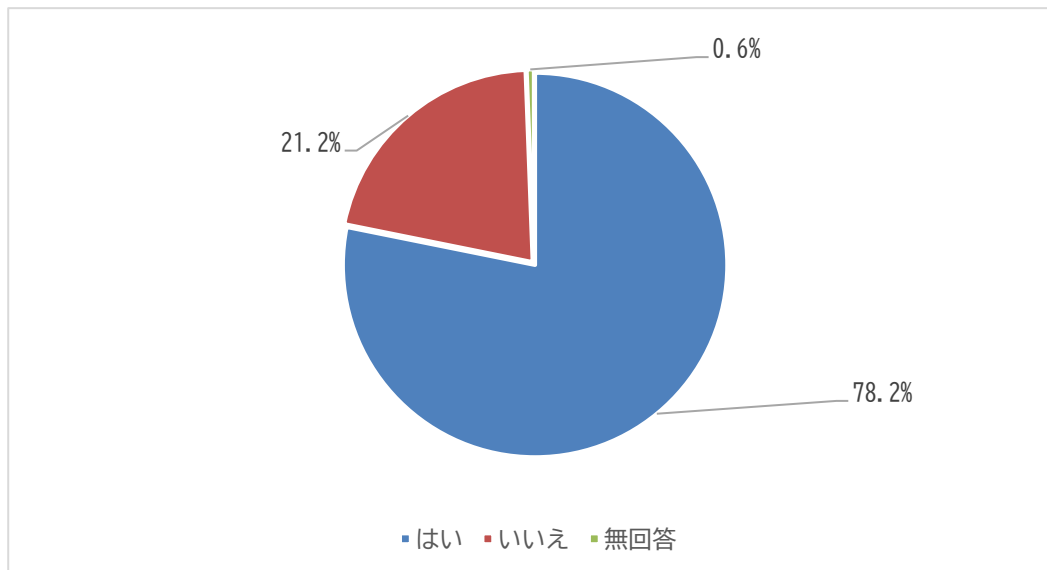
～心身障害者福祉センターについてお伺いします～

問3 福祉センターを知っていますか（あてはまるものに○）

「はい」と答えた方は1056人（78.2%）であり、「いいえ」と答えた方は287人（21.2%）でした。

表3 福祉センターを知っているか

区分	人	%
はい	1056	78.2
いいえ	287	21.2
無回答	8	0.6



問4 問3で「知っている」とお答えの方に質問します 福祉センターに行ったことがありますか

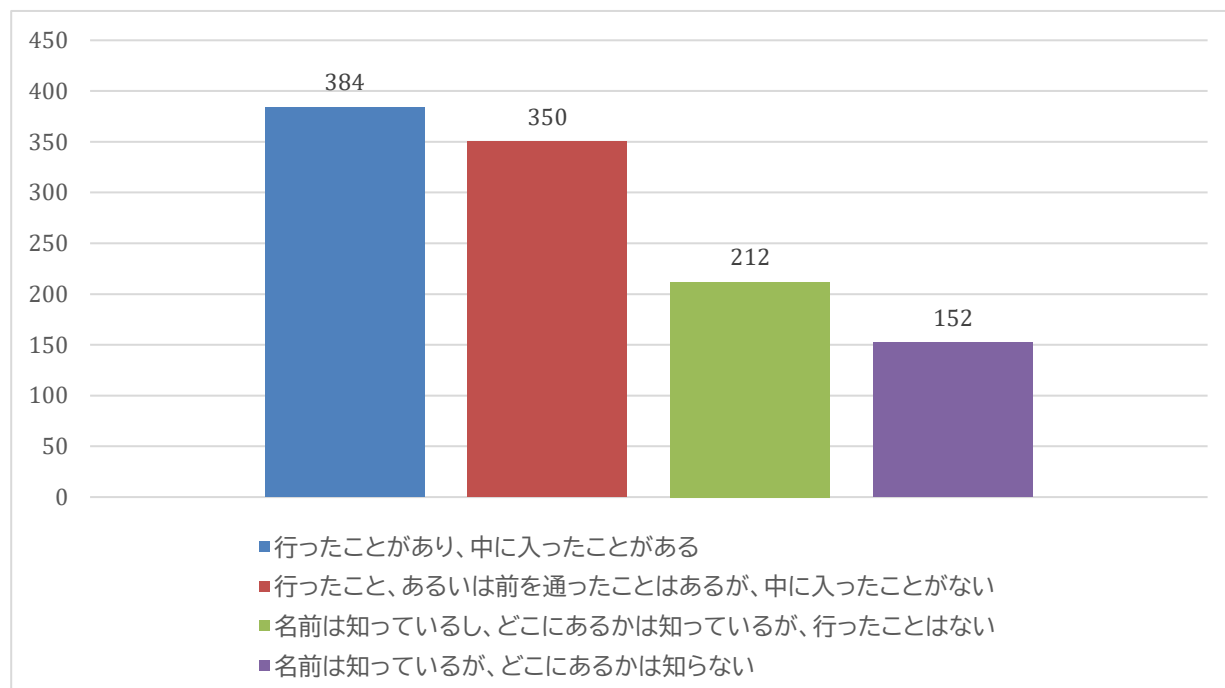
(あてはまるものに○)

「行ったことがあります、中に入ったことがある」384人(36.4%)で最も多く、次いで「行ったこと、あるいは前を通ったことはあるが、中に入ったことがない」が350人(33.1%)であり、行ったことがある人が全体の69.5%であった。

表4 福祉センターに行ったことがあるか

区分	人	%
行ったことがあります、中に入ったことがある	384	36.4
行ったこと、あるいは前を通ったことはあるが、中に入ったことがない	350	33.1
名前は知っているし、どこにあるかは知っているが、行ったことはない	212	20.1
名前は知っているが、どこにあるかは知らない	152	14.4

(複数回答があったため合計割合が100にはなりません)



問5 福祉センターは何をすることでと思いますか

(あてはまるものすべてに○)

「障害者の支援や相談」が1227人(90.8%)で最も多く、次いで「障害者自身の活動の場」が1058人(78.3%)、「障害者のリハビリテーションの場」が863人(63.9%)と続いています。

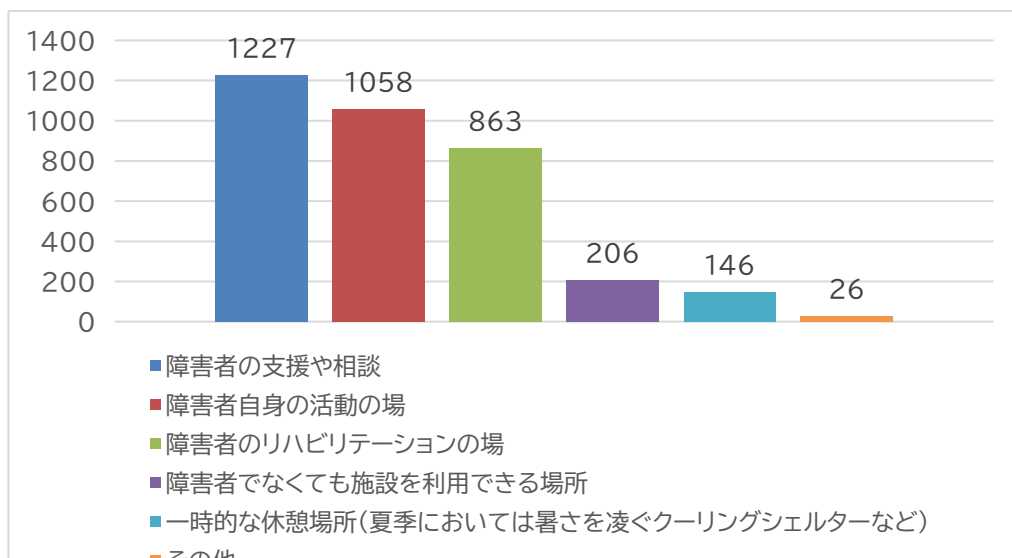
表5 福祉センターは何をすることでと思うか

区分	回答数	%
障害者の支援や相談	1227	90.8
障害者自身の活動の場	1058	78.3
障害者のリハビリテーションの場	863	63.9
障害者でなくても施設を利用できる場所	206	15.2
一時的な休憩場所(夏季においては暑さを凌ぐクーリングシェルターなど)	146	10.8
その他	26	1.9

(複数回答のため合計割合が100にはなりません)

その他の意見

- ・ 選挙会場、選挙時の投票場所
- ・ 貧困、老年への支援や相談
- ・ お祭り
- ・ 子ども(未就学)の療育
- ・ 緊急一時、プール
- ・ 障害者の就労支援
- ・ 障害者の方が通所することで、障害者の方の家族への支援になっている。
- ・ イベントを通じた交流
- ・ 地域の方への障害への理解を深める役割。季節毎にイベントを行って障害ある方との交流を行っている。



～福祉センターに期待することについてお伺いします～

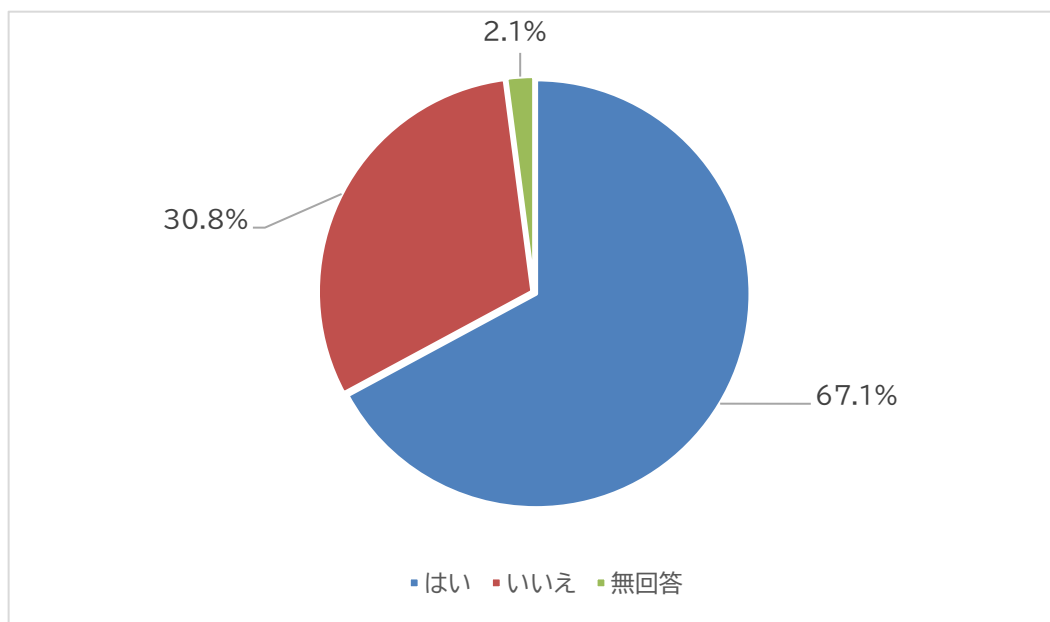
問 6 地域の施設として期待することはありますか

(あてはまるものに○)

「はい」と答えた方は 907 人 (67.1%) であり、「いいえ」と答えた方は 416 人 (30.8%) でした。

表 6 期待することはあるか

区分	人	%
はい	907	67.1
いいえ	416	30.8
無回答	28	2.1



問7 問6で「ある」とお答えの方に質問します 具体的に期待することは何ですか

(あてはまるものすべてに○)

「障害についての学びの機会や交流の場」が659人(72.7%)で最も多く、次いで「地域交流活動」が548人(60.4%)、「食の支援」が399人(44.0%)であった。

表7 期待することは何か

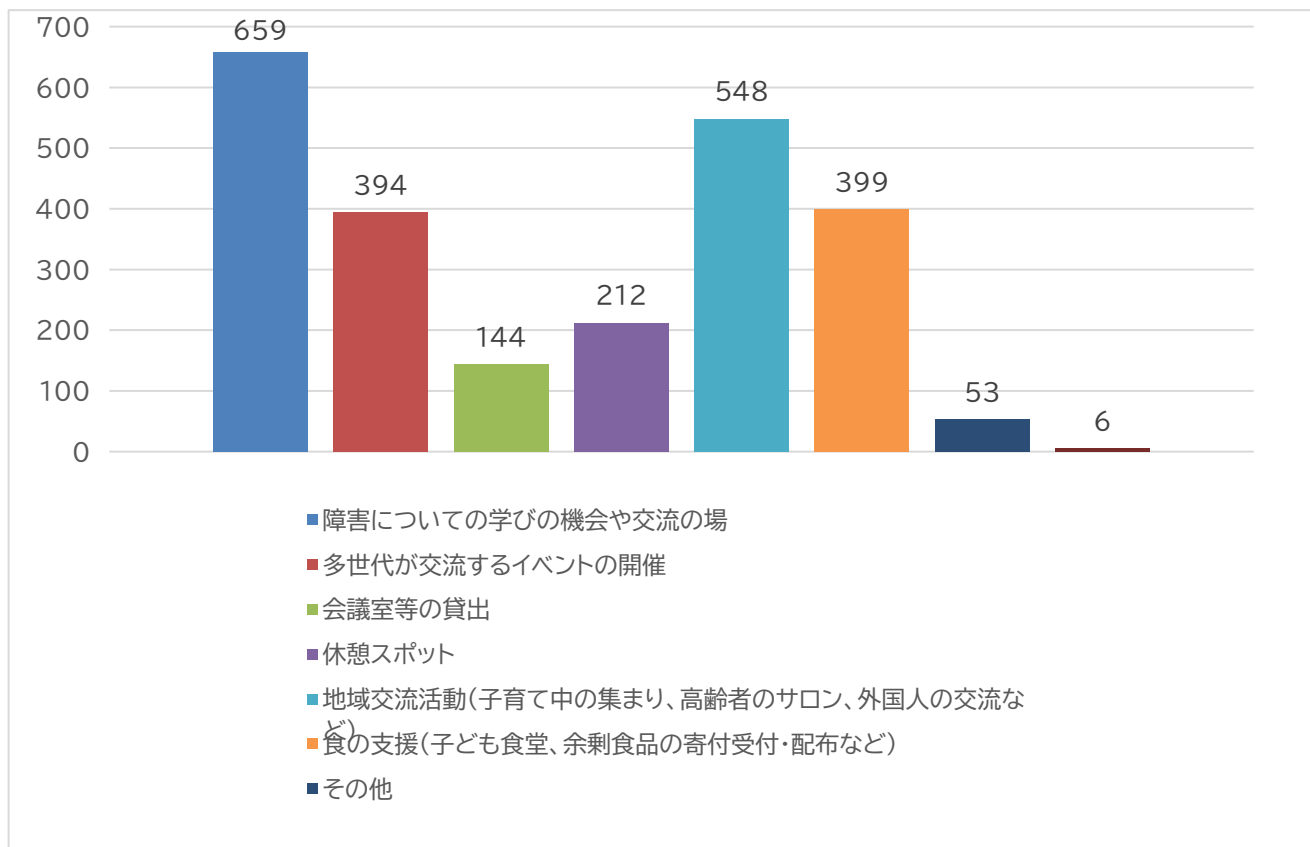
区分	人	%
障害についての学びの機会や交流の場	659	72.7
多世代が交流するイベントの開催	394	43.4
会議室等の貸出	144	15.9
休憩スポット	212	23.4
地域交流活動(子育て中の集まり、高齢者のサロン、外国人の交流など)	548	60.4
食の支援(子ども食堂、余剰食品の寄付受付・配布など)	399	44.0
その他	53	5.8
無回答	6	0.7

(複数回答のため合計割合が100にはなりません)

その他の意見

- ・ 専門職による定期的な健康相談、育児相談、介護相談
- ・ 医療的ケア児を対象とした児童発達支援等もしてほしい。
- ・ 障害者支援の資格取得講座の場所(国家試験から民間資格)
- ・ 学習室としての開放
- ・ 情報発信、地域啓発の機会
- ・ 総合的な施設運営が求められる時代だと思います。
- ・ 障害者の為の音楽教室や引きこもりの人の家族会や就労支援会など
- ・ 小中学生に学校の授業の一環として、訪問して見学、交流して障害への理解を深めさせる
- ・ 災害時の避難場所(一時的に屋上に逃げる)
- ・ 多世代、多様な人の集まりやすい、気軽な場所
- ・ 運動機器や健康機器など、空いている時間帯があれば、利用貸し
- ・ 心身障害(児)者の支援者(保護者等)へのケア

- ・ 学校へ行けない子の居場所
- ・ 重度障害者による当該施設の利用
- ・ 障害者の両親が高齢に伴い地域での支え合いもかなり役割として重くなっていることから地域包括支援センターの様に入所・通所などの声かけをしてほしい。
- ・ いつでも相談が出来たらうれしい！
- ・ 医療相談
- ・ 小規模通所施設へのリソース貸し出し
- ・ 障がいの有無、子ども、大人関係なく、インクルーシブな場であること。



問8 問6で「ない」とお答えの方に質問します 期待することがないのは何故ですか（あてはまるものすべてに○）

「困っていることがないから」が185人（44.5%）で最も多く、次いで「何をしているところか分からないから」が153人（36.8%）、「特殊な施設に感じるから」が132人（31.7%）であった。

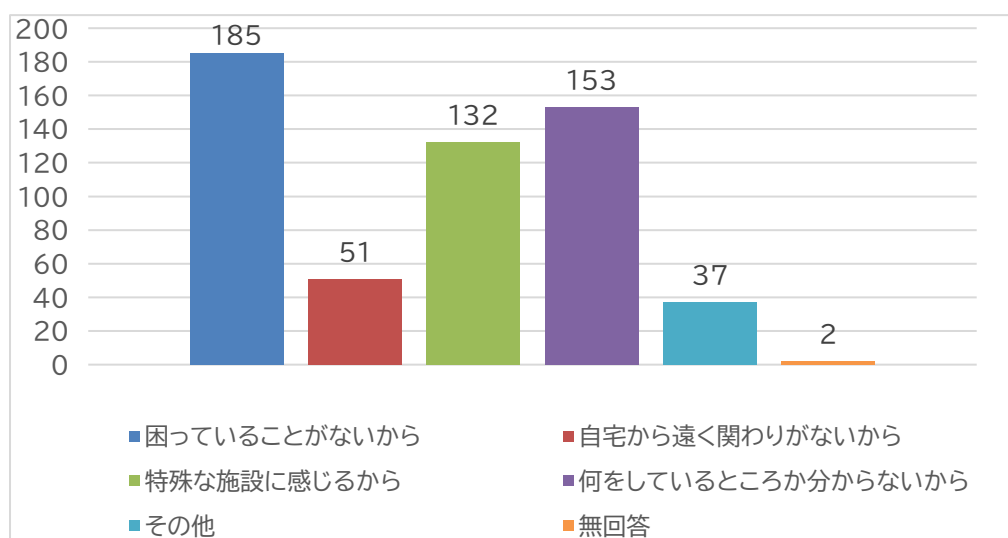
表8 期待することがないのは何故か

区分	人	%
困っていることがないから	185	44.5
自宅から遠く関わりがないから	51	12.3
特殊な施設に感じるから	132	31.7
何をしているところか分からないから	153	36.8
その他	37	8.9
無回答	2	0.5

（複数回答のため合計割合が100にはなりません）

その他の意見

- ・ 現在、障害者手帳を所持しており必要な支援を受けているため
- ・ 存在を知らない施設だったから
- ・ 運営等内容を把握していないから
- ・ 施設の具体的な活動内容を理解していない等のため
- ・ 自分に関わる事がない福祉センターのタイプだと思っている。どちらかという
と、老健センターの方が親の事等で身近。
- ・ 自分自身が障害者にならないとわからない
- ・ 普段の生活の中で通り沿いの様子を見守るしかできません。いつか自分もお世話
になるかも。知らないではなく、知ろうよと思っています。



～地域の方々が感じる不安等についてお伺いします～

問9 地域で暮らす中で、不便や不安を感じることはありますか？（あてはまるものすべてに○）

「災害」が799人（59.1%）で最も多く、次いで「防犯、地域の安全」が586人（43.4%）、「老後の生活」が500人（37.0%）、「自分や家族の健康」が463人（34.3%）であった。

表9 不便や不安を感じること

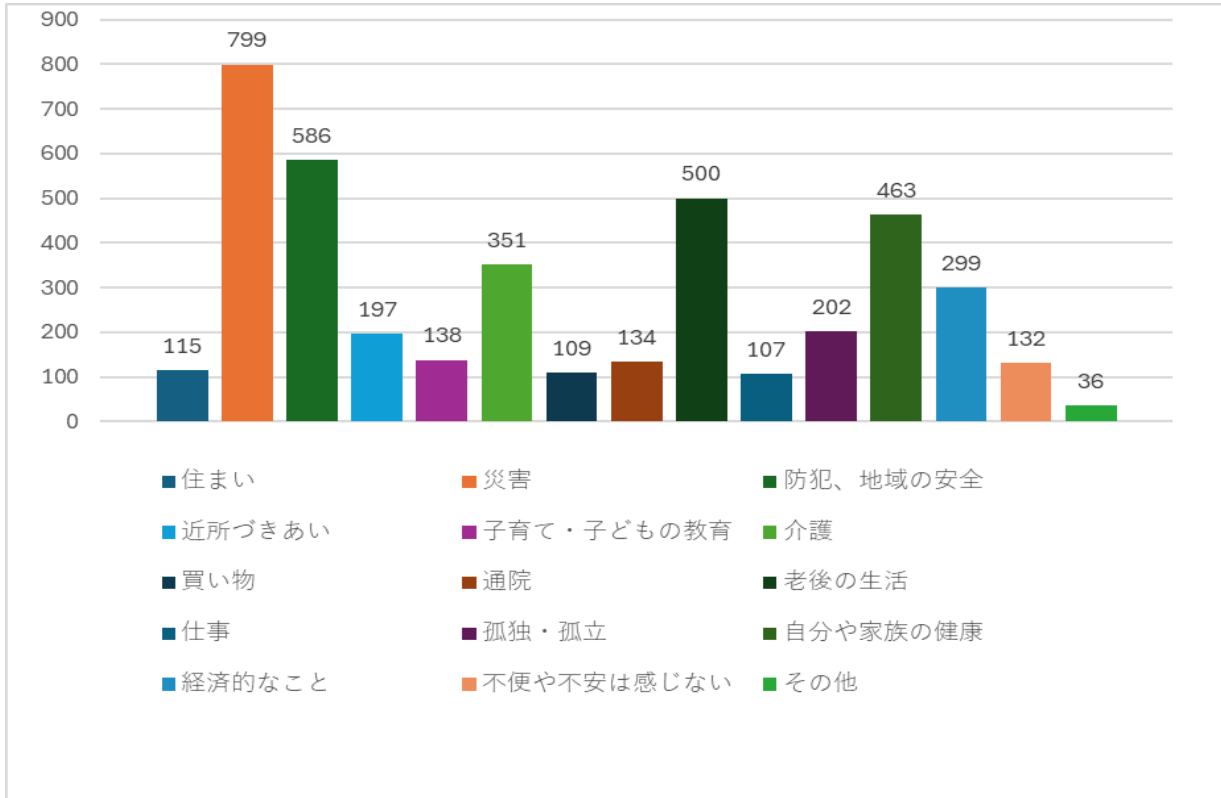
区分	人	%
住まい	115	8.5
災害	799	59.1
防犯、地域の安全	586	43.4
近所づきあい	197	14.6
子育て・子どもの教育	138	10.2
介護	351	26.0
買い物	109	8.1
通院	134	9.9
老後の生活	500	37.0
仕事	107	7.9
孤独・孤立	202	15.0
自分や家族の健康	463	34.3
経済的なこと	299	22.1
不便や不安は感じない	132	9.8
その他	36	2.7

（複数回答のため合計割合が100にはなりません）

その他の意見

- ・町としての明るさやにぎやかさが無い為に暗さが目立って不安である。
- ・年とともに身体の衰え
- ・少子高齢化の中で、介護や保育士の人手不足と市町村へ福祉予算削減
- ・今のところは災害や防災ですが、年齢が上がると増えてくると思います
- ・1人暮らしのサポート
- ・防犯、地域の安全にも関係あるが、空き家が多いこと。
- ・インフラの向上・整備

- ・ 交通（歩道が狭い、また車道も狭い。交通量は多いので歩行者としても、自動車や自転車を運転するのも不安を感じる）
- ・ 水害地震のリスク（多摩川）避難先確保（水害・地震の際）
- ・ 道路での事故等子供たちの安全



問 10 全体を通して何かご意見がございましたらご記入ください（自由記載）

「誰かだけの施設」から「誰でも施設」になっていくとすてきだなと思いますが、いろんな壁があり、難しいのかもしれないですね。全部は難しくても一部から変えていくといいのかなと思います。

15～16年前になります。子どもが小学生の頃夏休みの手話教室に通わせていただきました。
多様性の社会において障害という個性も幼少期から身近に接することでさらに隔たりがなくなると考えます。その様な企画や学習の機会を作っていただき有難いと思いました。

1人も不幸な方を出してはいけないと思います。残念ながら、そういう方に限って、いわゆる情報弱者、行政嫌いだと思うので、おせっかいなくらいが良いと思います。頑張ってください♪

40年前に高校の課題のため、個人的に話を聞きに伺いました。ていねいな説明を受け、しっかり発表もしましたが…（ありがとうございました）。それからずっと府中に住んでいながら関わることもなく、実際、このアンケートを記入していても、現在の活動を理解していませんでした。おまつりもあるようなので、機会があれば出かけたなと思います。

5～6年前ですが、あゆの子に子どもがお世話になりました。職員の皆さんに大変良くしていただき、良い思い出が多い場所です。しばらくお伺いしていませんが、図書コーナーが充実していたのが良かったです。ぜひ新しい本も導入していただければと思います。

あまり知らなくて申し訳ありませんでした。今後、何か都合が合った場合は（自分から調べて）ボランティアに参加しようと思います。

あゆの子が移転してしまったので重度障害者だけの施設のイメージになってしまい、何をやっているのか分かりにくい場所&入りにくい場所になってしまいました。休憩スポット、会議室の貸出はあるのですか？無料？有料？障害がない人も使用できるのでしょうか？

お恥ずかしながら府中市立心身障害者福祉センターを知ったのは今回のアンケートで初めて知りました。多分近くを通ったりしてと思いますが……。どんな活動をしてるのかも全く知りません。

時間が合えば11月3日の福祉センターまつりに行ってみようと思います。
また何かイベント等があったら今回のようにポスティングをしてもらえるとありがたいです。

こんにちは。毎年孫が福祉センターまつりを楽しみにしていますよ。イベント、体験コーナー、いろいろなパン、焼きそばその他お意識できてますね。これからも楽しみにしています。

センターのイベントをふやし、だれでも行きやすく、相談しやすい雰囲気作り。センターを地域の人の活動できる場として開放する。

センターの前は車で通ったことは何度もありますが、通うのは不便そうだなと思った記憶が。調べたことはないのですが、送迎バスもあるのでしょうか。利用しやすい環境が必要だと思います。

どのようなことをしている所なのか知りたいですが、自分から調べたり情報を取りに行くことをしていません。もう少し身近に感じることができたらいいなと思います。

ネーミングからして障がいのある方やその家族だけが利用するというイメージです。施設を有効利用してみなが活用できればよいですね。

ふだん福祉センターについて意識したり、活用することがほとんどないため、出来れば有効に活用できるようにしていただいて、よりよい交流や地域住民、障害者共に意識が高まり、共生し楽しめるセンターとなれば幸いです。

以前、子供が学童に通っていた際、夏休みイベントがあり、お邪魔しました。文化祭にも行きました（子供と）。障害について学べたことは、子供にとって視野や知識が広まり、いい経験となりました。

一般の認知度が低いと思われるのでもっとPR活動等が望ましいです。このアンケート調査もその点でいいものです。該当しない人でも色々利用できるようにすることも必要です。

何度か障害のある娘のことで相談させていただきましたが、話を聞いてくれるだけで解決方法の提示もなく中途半端に終わってしまった。何度か行っても何のための施設かよくわからなかった。

介護保険や障害者手帳などを持っていない程度の障害・不自由を感じてる人も多いと思います。仕事には就けない支援もしてもらえないような人たちの福祉も考えてほしい。

貴センターは社会的に大事な施設と思っています。頑張ってください。

近くの小学校出身なので、授業の中で行ったことはありましたが具体的に何の場所なのかは知らない人も多かったし、私も知らなかったので、交流活動などで知る機会があれば良いなと思いました。”関係のない場所”ではなく、知ることが大事！！

近隣住民ですが、福祉センターの活動内容をよく存じません。どのようなお手伝いをする事ができるのでしょうか？いろいろ発信していただけたらと思います。。

公共の場として市民に広く開放してほしいです。災害時などに限らずオープンであってほしいです。

公共施設の有効利用は大いにすべきだと思う。障害者と健常者の交流の場にもなり、フラットな関係が構築できる。

今回のようなアンケートを行うことで、本センターの事が知れて良いことです。大変でしょうが職員含め頑張ってください。センターの発展と皆さんの活躍に期待します。

仕事柄、障害者の方と接することがありますが、具体的に障害者支援センターで何をやってるかはよくわかっていません。学ぶ機会となればよいかと思えます。

子どもの頃から府中市在住なので、福祉センターは知っていますし、入ったこともあります。ただ子どもの頃に行った以来です。施設の場所が市内中心部ではないので、知らない方も多いかもかもしれません。もっとたくさんの方に知れ渡るといいと思っています。

子供が小さい時、利用させて頂いてました。子供は場所を変えてまた色々お世話になっていると思いますが、成人した（私にとっては）子供達の事、親なきあとのことなど心配が付きません。そんな親たちの交流の場があってもよいのではないのでしょうか。

子供が幼稚園の時にお世話になりましたが、その後はご縁がなく障害がある子でも参加しやすい子供食堂があってもいいですね
通常級に通っている子とのふれあう機会があってもよいかと思えます

私ごとですが、コロナ後遺症から体調崩し、精神的にもやられてしまいました。一番不安だった時、相談する場所(病気について情報を知ることが出来ず苦しみました)同じような方とお話する場所や、まったく関係ない方との交流でも、自分の行く場所があったらどんなに救われたかと思うのです。きっと今も辛く孤独に感じている方々がいるはずで。救いの場所になってくれたらと思います。

社会ではまだまだ障害者はじゃま者、怖い存在とのイメージが強く、もっと理解が必要と感じている。

出向いて伺うだけでなく訪問のセクションができるとありがたい。該当者本人たちは地域でこれでいいと思い込んでいたりして、周りも高齢化していたりするので負担が重くなっている。本人達の気づきにつながるようにしてほしい。

小さな頃よく遊びに行っていた場所でした。今の子供達はその時のように遊んでいるのか。個人的には憩いの場であったので、なつかしさと親しみのある場所です。

障害のある方だけでなく老人や子供たちが気軽に集い、かつどうできる施設であることを期待します。

障害者と一般の人々との交流の機会が増えるとよいと思います。時々一人で散歩でセンターの近くを歩くと障害者の皆さんがお散歩されている事があります。皆さん楽しそうでほほえましく思います。私たち（大人たち）も散歩を一緒に楽しめるとよいと思います。

障害者のためだけとと思っていましたが、地域交流活動を沢山発信していたら行きやすくなるのではないかと考えています。

心身障害者福祉センター、はじめて名前を聞きました。何をしているかわからないのでもう少し何をしているか知ることが出来たらと思います。

身内に障害者がいるのでよく知っているしお世話になっております。でも身近にそういう人がいない場合は「ここは何？」という疑問もあるのでしょうね。開かれた施設としてクーリングシェルターなど、一般の人でも使える施設になるといいですね。水害のリスクの高い位置に建設されているので、善後策も検討してほしいと願っています！

先日、花火大会？をされていた様に思います。若い方が一生けんめい楽しんでおられたのを記憶しています。大切な施設であると思いました。

多摩市より越してきて、府中はとても住みやすいと感じています。一度、福祉センターに行ってみたいと思いますが、一般の人でも大丈夫なのかしら？これからも障害者福祉にやさしい町に期待しています！

地域の為にご尽力いただきありがとうございます。これからも、障がいの有無、老若男女関係なく、お互い理解を深め差別のないあたたかい地域になるよう願っています。健常な方への正しい知識を伝え続けること(子供のうちから)が大切だと考えています。今後も分け隔てなく参加できるイベントや交流が増えると良いと思います。

認知度が低いのは我ら自身にも要因ある。府中市政をもっと理解するように努力も必要。

府中が障害者や高齢者、子育て中の方々に優しい街になる様、期待しています。住んでいる方々と施設や障害をかかえる方々との距離感が縮まるよう、お互いが少しでも理解しあえる交流の機会が増えると良いですね。一市民ですが、お互い頑張りましょう。

福祉センターは、だれが利用してよいのか、わからない。いつ何をしているのかもわからない。情報発信がもっとあればいいのか、とも思う。私も勉強不足です。

福祉センターまつりによく行かせていただき、子供が点字や車イス体験を通して障害について少しですが知ることができたと思います。今後手話を学べる講座などがあったら通いたいです。

明らかに身体障害がある人は支援の対象となっていますが、普通に仕事に就いている人や生活している人のなかにも、大人の発達障害がみうけられます。隠れた障害者といえるかもしれません。電車に乗っても時々みるので不安になります。このような隠れ障害者と思われる人への対策も必要かと考えます。

他 330 件